

Newspaper in Education <教育に新聞を>



読売新聞は小学校低学年向けの特集「よみうり博士のアイデアノート」を、そのやさしい読みやすさから、全国の小学校で活用されている。その制作に当たっては、取材記者へのインタビュー、クイズ、インターネットを使った制作など、新聞の作り方を学ばせる工夫が凝らされている。昨年10月から5年生の教科書の読み合わせに合わせて制作しており、これまで「社会、理科、道徳の3科」を扱ってきた。日十三本が利用でき、インターネットは、新聞記

また、リンクをはる際は、そのページの作り方に詳細を求めているが、好意に応じ入られている。今後、教材に活用している先生たちと意見交換し、改善していく方針である。内容を説明した会場からの質問には、「四十分の授業のうち二十分はインターネットで学習させるようにしている。先生の授業を妨げるつもりはない」と答えていた。

# 教科書に沿って読もう

読売新聞は、小学校でパソコン導入、インターネット活用が進んでいる反面、子供たちの中にはパソコンに触れていない子供も少なくない。読売新聞は「アイデアノート」として、子供たちがパソコンで読めるように工夫している。また、インターネットのアドレスは <http://www.yomiuri.co.jp/nic/note/> である。



読売新聞は、小学校でパソコン導入、インターネット活用が進んでいる反面、子供たちの中にはパソコンに触れていない子供も少なくない。読売新聞は「アイデアノート」として、子供たちがパソコンで読めるように工夫している。また、インターネットのアドレスは <http://www.yomiuri.co.jp/nic/note/> である。

読売新聞社 佐藤 隆雄